

実践例 県立小山城南高等学校

教科・科目等 地理歴史科・日本史探究（3学年選択者）

本時の目標

平塚らいてうらの動きを通して、解放運動の経緯や目的について理解することができる。

育てたい資質・能力等

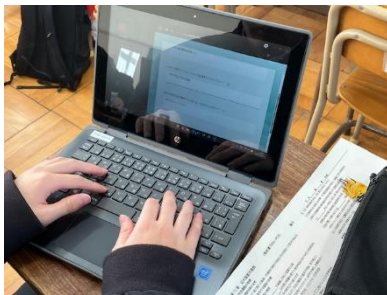
これまでの女性の歴史や、当時女性が置かれていた問題を正しく理解する。（知性）

差別が起きたり、権利が認められなかったりした女性の悲しみ、それを変えるために立ち上がった人々の勇気などを想像する。（感受性）

教材 教科書、資料集、ワークシート、タブレット PC

展開

- 女性の社会的地位の歴史と時代背景について振り返る。
- 平塚らいてうの主張した権利について、teams で意見を共有する。



←学習の様子

- なぜ、このような主張がされたのかをグループごとに話し合い、意見を発表する。
- forms で男女平等な社会を構築するために大切なことは何かについてまとめる。

●学習後の変容

学習前は、女性の置かれていた状況への理解に留まっていた。特に男子生徒へは立場を逆にして考えさせることで「これから男女が平等な生活を送るためにはどうしたら良いか」について、意見交換を行っていた。取りまとめた意見の中には「性差による配慮はされるべきだが、その延長線上に差別が存在するのかもしれない」など、発展的な思考をする生徒もいた。